

Cisco Business Dashboardの高度なワイヤレス設定

目的

この記事の目的は、Cisco Business Dashboard(CBD)バージョン2.5.0を使用して、高度なワイヤレス設定オプションを確認することです。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- Cisco Businessダッシュボード | 2.5.0

概要

CBDは、シスコビジネスネットワーク内のデバイスの監視と管理に役立つツールを提供します。ネットワークを自動的に検出し、スイッチ、ルータ、ワイヤレスアクセスポイントなど、サポートされているすべてのデバイスを設定および監視できます。

CBDバージョン2.5.0には、ダッシュボード自体からワイヤレスネットワークを制御するための多くの新しいオプションが追加されています。これには、CBDを介して作成したSSIDでApplication VisibilityおよびLocal Profilingを設定する機能が含まれます。

また、新しい[Wireless Radio]メニューの一部として、プロファイルを作成してアクセスポイント(AP)のグループに適用することで、RF最適化設定、不正AP検出、および干渉検出をカスタマイズすることもできます。

最後に、デバイスの詳細なプロパティに移動して、APごとに無線設定をカスタマイズできます。

詳細を見つけるために読み続ける！

目次

- [ワイヤレスLAN](#)
- [ワイヤレス無線](#)
- [無線設定](#)

ワイヤレスLAN

CBDを使用して、特定のSSIDのApplication VisibilityおよびLocal Profiling設定を有効にできるようになりました。

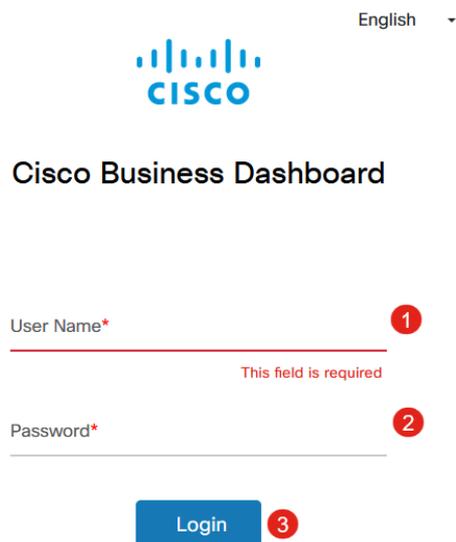
SSIDの作成時にこれらを有効にした場合、SSIDを持つすべてのCBWデバイスで有効

になります。

このメニューにアクセスするには：

手順 1

CBDにログインします。



English ▾

CISCO

Cisco Business Dashboard

User Name* 1

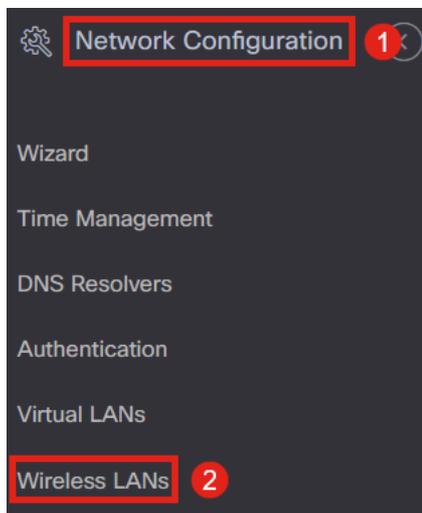
This field is required

Password* 2

Login 3

手順 2

[Network Configuration] > [Wireless LANs] に移動します。



手順 3

既存のワイヤレスLANプロファイルを作成または編集できます。これは、より多くのアクセスポイントにワイヤレスネットワークを簡単に導入する方法です。新しいプロファイルを作成するには、プラス(+)アイコンをクリックします。



▼ Profile Name

手順 4

プロファイル名、組織、およびデバイスグループを設定します。

Wireless LANs->Update WLANProfile2

Device Group Selection

Profile Name	<input type="text" value="WLANProfile2"/>	1															
Organization	<input type="text" value="Default"/>	2															
Device Groups	<table border="1"><thead><tr><th>Available Groups</th><th></th><th>Selected Groups</th></tr></thead><tbody><tr><td>Branch 1</td><td>></td><td>Default</td></tr><tr><td></td><td><</td><td></td></tr><tr><td></td><td>>></td><td></td></tr><tr><td></td><td><<</td><td></td></tr></tbody></table>	Available Groups		Selected Groups	Branch 1	>	Default		<			>>			<<		3
Available Groups		Selected Groups															
Branch 1	>	Default															
	<																
	>>																
	<<																

手順 5

WLANを追加するには、[Wireless LANs] の下のプラス(+)アイコンをクリックします。



SSID Name

手順 6

ウィンドウのフィールドを設定します。[Advanced Settings] で、このSSIDの [Application Visibility] と [Local Profiling] を指定できます。設定が完了したら、[Save] をクリックします。

Add Wireless LANs

Enable

SSID Name

VLAN ID

Security

Preshared Key

▼ Advanced Settings

Broadcast

Application Visibility

Local Profiling

Radio

SSIDの作成時にこれらを有効にした場合、このSSIDを持つすべてのCBWデバイスで有効

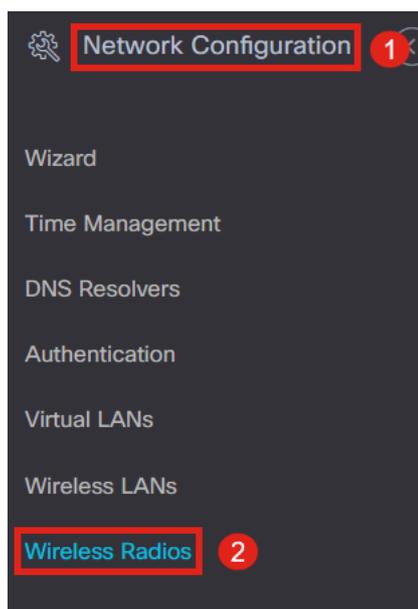
になります。

ワイヤレス無線

Wireless Radiosは、CBD 2.5.0のユーザインターフェースで使用できる新しいメニューです。これにアクセスするには：

手順 1

CBDにログインし、[Network Configuration] > [Wireless Radios] に移動します。



手順 2

プラスアイコンをクリックして、プロフィールを追加します。

Wireless Radios



⇅ Profile Name

手順 3

ここでは、プロフィールを作成し、デバイスグループ内の複数のデバイスを設定して、CBW APのRF最適化設定、不正検出、および干渉検出設定を設定できます。

Wireless Radios->Update CBDProfile

Device Group Selection

⚠ Changing the radio configuration will disrupt the network momentarily

Profile Name: 1

Organization:

Device Groups:

Available Groups		Selected Groups
Branch 1	>	
Default	<	
	>>	

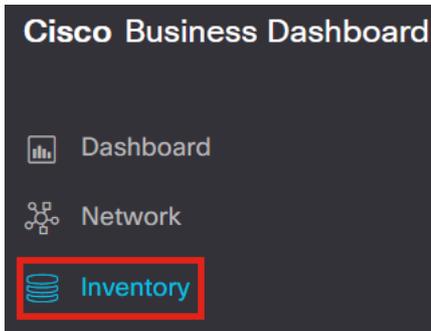
2

無線設定

チャンネル、電力レベル、およびデバイス単位の有効化または無効化などの無線設定を簡単にカスタマイズできます。

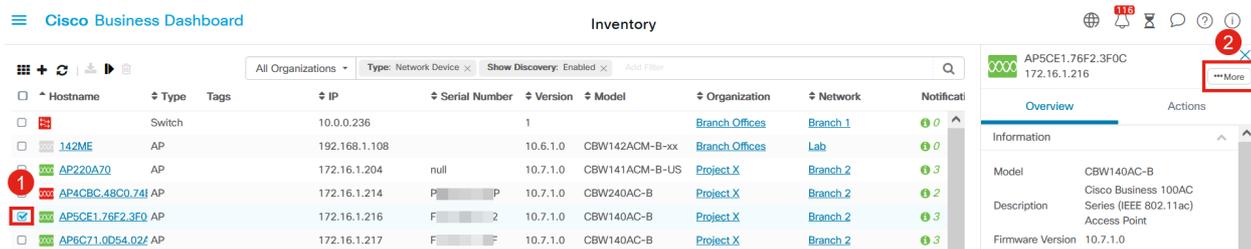
手順 1

[CBD]メニューで[Inventory]に移動します。



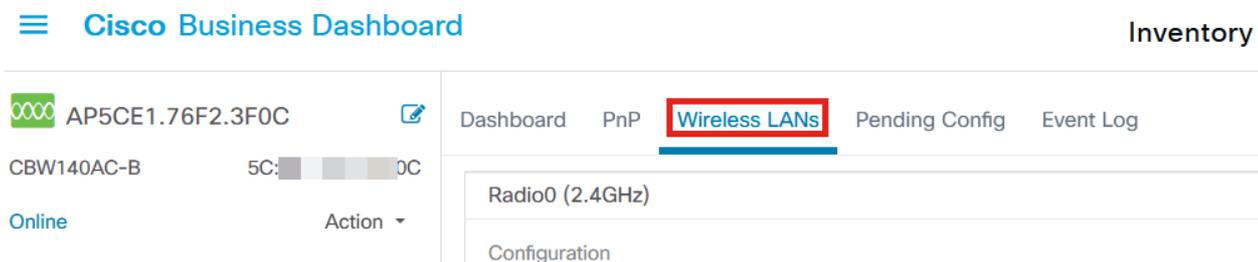
手順 2

リストからデバイスを選択し、ユーザインターフェースの右側にある[More]をクリックします。



手順 3

[Wireless LANs] タブに移動します。



手順 4

デバイスの現在の無線設定が表示されます。特定の無線を編集するには、その横にある鉛筆アイコンをクリックします。



Radio0 (2.4GHz)	Radio1 (5GHz)
Configuration 	Configuration 
Admin Status Enabled	Admin Status Enabled

手順 5

[Edit]ボタンが[Save] アイコンに変わります。無線設定に必要な変更を行った後、[Save] をクリックします。

Radio0 (2.4GHz)	Radio1 (5GHz)
Configuration 	Configuration 
Admin Status Enabled	Admin Status <input checked="" type="checkbox"/>
Automatic Channel Selection Enabled	Automatic Channel Selection <input checked="" type="checkbox"/>
Transmit Power Auto	Transmit Power <input type="text" value="Auto"/>

結論

それだ！これで、ワイヤレスネットワークを制御および管理するためのCBD 2.5.0の高度なワイヤレス設定オプションについて理解できました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。